

10/14 五  
萬

の代表質問で、金権腐敗疑惑や政治モラル崩壊に向き合わなく岸田文雄首相の姿勢が浮き彫りになりました。岸田氏は所信表明演説で一連の疑惑には一言も触れませんでした。代表質問で具体的に追及されても両論説とも拒み続けていました。安倍晋三元政権から菅義偉前政権に統べ国政私物化や「政治とお金」の問題の解明は、民主主義と政治の信赖に関わる大問題です。真相解明を求める世論に逆らう岸田政権にして、国庫の願う政治は実現できませんでした。

主張

## 首相の国会答弁

じる野党議員は、雅子さんが再調査を求めて首相に送った手紙を取り上げ、認識をたたしました。曾相は、「拜読した」とはこうたるもの、再調査をやめとは明確にあらわせんでした。それよりもか、財務省の調査は徹底的に行われ、同省は非を認めたなどと主張しあし

事実がありました。再調査を受け入れない理由は全くありません。岸田前相は、加計学園の歯医学部開設問題について、「オープンなプロセスで検討が進められること」の適用範囲でも、再調査を拒んだと正論じました。安倍元首相が関わる「桜を見る会」前夜祭が大疑惑にフタをし続ける連続相の態度は、「安倍・菅政治」がすぐに引いてしまった。岸田氏は終盤で「直筆ではありません」と繰り返しました。しかし、單大疑惑にフタをし続ける連

皆、舊政府の「體の運営」の實質を算出する。監視の共通政策は、「権力の私物化を許さず、公平で透明な行政を実現する」を柱の一つとして、真相究査を行つた結果記してある。監視の立場を察するには、政権交代を実現するとかあらねど。

疑惑は、安政政権時代の國政私物化の象徴です。公文書改ざんを強められた近畿財務局職員の赤木俊夫さんの妻・雅子さんは、「眞実が知りたい」と裁判を起こしています。

財務省が2018年にまとめた  
調査報告書は、不十分な内容で、  
真相解明には至らなかったのです。  
今年開示された俊夫さんが残した  
「ファイル」には、当時の理財監  
長・佐川宣寿氏が直接改さんを指  
示したなどと、報道面にはない新

否しまず。甘利明田中角栄細川直人  
口利き・金錢疑惑について國会下  
の説明を抱んでいたことはじつに  
は「自尊が判断すべき」といひます  
です。河井衆院法相夫妻の大損  
賃収事件で国税庁本部が提供  
た1億5000万円の巨額資金につ  
いても再調査には応じません。

と一いつも避わつません。「昭和昭和  
義の危機打開」なる実境でもあや  
ん。